

平標山&仙ノ倉山山行報告

【山行日】2016年 6月 12日(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 2,500円

【メンバー】CL: 鈴木ユ、岩淵、大西、鈴木ヤ、
津佐、藤原、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P4:00=元橋P5:50/6:10

~平元新道登山口 7:10/7:20~平標山の家

8:40/8:50~平標山 9:55/10:05~仙ノ倉山

11:00/11:15~平標山手前ベンチ 11:50/12:15~

平標山 12:30~松手山 13:40~鉄塔 14:10~

元橋 P14:50/15:05=岩舟支所 P17:00



平標山へ登りたいと言う要望があり、花がきれいな時季に仙ノ倉山と併せて計画した。



元橋の登山者用駐車場に予定より早く着き、トイレとストレッチを済ませ、予定より早めにスタートできた。

トイレの裏にある登山届ボックスに、登山届を入れ歩き始める。数十メートルで舗装道に出て、左に進むと松手山コース登山口に行き、直進して山道に入ると平元新道登山口に向かう。

河内沢沿いにつけられた道は、森林浴をしながら気持ちよく歩ける。30分ほど歩くと並行する岩魚沢林道に上がり、林道を緩やかに登るようになる。

林道歩きに飽きたころ、道標と大きな案内板がある平元新道登山口に着く。休憩後、ここからは本格的な登山道になり急な登りが続く。

最初は針葉樹林帯を登り、高度を上げるにつれブナ林帯になりナナカマドやムシカリなどもあり、雰囲気の良い登山道になる。途中休憩をとり、急坂を一途に登ると「平標山ノ家」の屋根が見えてくる。山ノ家脇のテラスで休憩し、オレンジや菓子でエネルギーを補給する。テラスからはこれから登る平標山や仙ノ倉山方面が見渡せ、絶好の休憩ポイントである。山ノ家のトイレを借り、記念写真を撮って出発する。ここからは森林限界を超え、見晴らしの良い尾根道を、木の階段で登るようになる。



登山道の脇にはイワカガミやアカモノの花が咲き、疲れを癒してくれる。I 淵さんが利尻山山行に向けて花の名前を勉強し、出会った花の名前を次々と教えてくれる。お陰で疲れを感じずに、平標山頂に着くことが出来た。山頂からは360度の大展望が得られ、これから登る仙ノ倉山はもちろん谷



川岳から来週登る大源太山、苗場山など上越の名だたる山々が見渡せる。眺望を楽しみ、記念写真を撮ったら仙ノ倉山へ向かう。東に木の階段を下って行くが、ここからが本日のハイライトのお花畑が広がる。まず目に入ったのがハクサンイチゲの群落。I嬢も「ウワ～～なにこれ！！キレイ」と大声で叫ぶ。ここからは花・花・花のオンパレードで、ハクサンイチゲはもちろんハクサンコザクラ、チングルマ、ミヤマキンバイ等々が咲き乱れていた。今回の花は。どれも咲いたば

かりで、花が痛んでなく素晴らしい。これほど花がきれいなお花畑に出会えたのは、横文字で言えば『ラッキー』の一言である。

周りの山も、笹原のなだらかな山容が何ともいえない安らぎを与えてくれる。花を楽しみながらの歩きは疲れを感じず、楽に仙ノ倉山の山頂へ登れた。仙ノ倉山山頂も大展望が得られ、展望を楽しみながら甘いスイカをいただく。ゆっくり展望を楽しみ、記念写真を撮ったら下山する。来た道に戻り、平標山の下にある大きなベンチでランチタイム。風が強いのでザックを並べて風除けにし、キノコうどんを作る。



昼食を済ませたら平標山に登り返し、山頂から松手山コースを下って元橋の駐車場へ向かう。



松手山へのコースも展望が良く、花を楽しみながら降りられる。途中、ザレ場の急坂があるが、ここを過ぎれば緩やかな尾根歩きとなる。松手山で最後の休憩をとり、樹林帯の急坂を下ると大きな鉄塔の脇を通り、さらに急斜面を九十九折れに下って行くと別荘地に出る。左に進み、橋を渡って右に曲がると元橋駐車場に着く。トイレを済ませ、駐車料金を払って岩舟支所に向かった。

天気に恵まれ、山よし・花よし・展望よし、と三拍子そろった『平標山・仙ノ倉山』に皆大満足の山行だった。